



国際人とは？

2つのアイデンティティを
通してわかったこと

講師 浅井貴也さん

(北翔大学教育文化学部准教授)

とき 6月1日(木)18:30～

ところ 野幌公民館2F 研修室5

浅井貴也（あさい・たかや）先生はアカデミーオブアート大学（米国）を卒業され、同大学の大学院を修了（MFA、芸術学修士）されて15年間のアメリカ留学経験をお持ちです。また、これまでに欧米・アジアの20を超える国々を訪れ、多様な文化、価値観について識見を磨かれました。その経験を活かしていろいろな社会的活動にも尽力しておられます。アメリカは日本の重要な友好国ですが、国民生活の詳細は私たちは余り知りません。この機会に、浅井先生の経験されたアメリカの教育制度を通して、日米両国民の国際感覚の相違や日本の教育の欠陥など、幅広く、率直にお話して頂きたいと思います。

浅井先生から、講演の要旨として、次のようなコメントを頂きました。

「グローバル人材の育成、獲得が急務とされている現在、大企業の一部では英語の公用語が始まり、教育においては幼稚園からのバイリンガル教育、小学校からの英語必修化、大学では低迷した日本人留学生数の海外留学支援などが話題になっています。英語が堪能であればグローバル人（国際人）となりえるのか？グローバル人材とはそもそも何か？日本人とは何か？について長年考えてきました。私は日本の中学校を卒業した後、単身渡米し、高校から大学院までおよそ15年間をアメリカで過ごしました。この2つの国の教育制度を通して学んだ両国の歴史と文化、価値観、様々な体験が今の私を作っています。その視点から国際人とは何かを皆さんといっしょに考えます。」

主催 江別ユネスコ協会

※一般市民・学生の皆さんの出席を歓迎します。（参加申込み不要・無料）

お問合せ先◇江別ユネスコ協会事務局（教育委員会生涯学習課内・担当大友☎381-1069）